

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 6 月 17 日

【評価実施概要】

事業所番号	2171700103		
法人名	有限会社 めぐみ介護サービス		
事業所名	グループホーム めぐみ		
所在地	恵那市長島町中野1205番地の72 (電話) 0573-26-2615		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	平成20年6月17日	評価確定日	平成20年8月3日

【情報提供票より】 (平成 20 年 5 月 31 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 3 月 27 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	14 人	常勤 5 人, 非常勤 7 人, 常勤換算	8.65 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,000 円	その他の経費(月額)	12,000~ 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 160 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 20 年 5 月 31 日 現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 78.3 歳	最低 56 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	森川クリニック
---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

1ユニットのホームは市郊外の高台住宅地の中にある。懐かしい里山を感じながら玄関口が上がっていくと、木陰のベンチには散歩に出発前の利用者が居て、イングリッシュガーデン風の草花に朝の水遣りを行っている人もいる。広い敷地には本格的な畑もあって利用者が畑仕事や収穫を楽しんでいる。建物内は木造平屋民家改造型の制約もあるがそこから感じる温かみもある。介護の経験が豊かな経営者のもと、大幅な権限の委譲を受けたホーム長以下、古希を過ぎても夜勤しながら介護福祉士の資格を取得し、さらに、ケアマネジャーの資格取得を目指す職員もいる。ホームは明るくて元気で、玄関戸は開放され風通しも良い。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題であった家具の転倒防止については、耐震対策として全般的な見直しが行われ、災害対策の一環として改善の取り組みが行われた。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	自己評価はホーム長以下の職員によって話し合いがもたれ、作成されている。 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は隔月に開催され、行政や家族代表だけでなく、3名の民生委員や近隣住民の出席もある。行事・食事・排泄・評価事業などについて話し合い、アドバイスを受けている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来訪時や必要に応じて電話で連絡・相談し、行事等が掲載された月刊のホーム便りが家族に送付されている。ホーム玄関口には意見箱が設置され、苦情申出啓発ポスターも掲示されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会行事への参加、芸能ボランティアの受け入れ、「市職場体験学習協力事業所」として中学生の積極的な受け入れ等が行われている。元々地元の出身である経営者は地域に招かれて「認知症」について講演することもある。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営者をはじめ、職員も地元出身者が多く、元々地域とのつながりは深い。理念の『共豊』は、「利用者・家族・地域の人達・職員・経営者のみんなが共に豊かな生活ができる」事をめざして作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	簡潔な理念と共に、その具体的な取り組み指標である「心得10ヶ条」が大書掲示され、また、1日の就業の終わりには業務修了報告によって35項目のチェックが毎日自己反省が行われ、徹底した実践が図られている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会行事への参加、芸能ボランティアの受け入れ、「市職場体験学習協力事業所」として中学生の積極的な受け入れ等が行われている。経営者は地域に招かれて「認知症」について講演することもある。	○	「子ども110番家」にもなり、学校へ通う子どもたちへのあいさつや声掛けをしていきたいとする取り組みに期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はホーム長以下の職員によって話し合いがもたれ、作成されている。前回評価での改善課題であった家具の転倒防止については、耐震対策として全般的な見直しが行われ、災害対策の一環として改善の取り組みが行われた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は隔月に開催され、行政や家族代表だけでなく3名の民生委員や近隣住民の出席もある。行事・食事・排泄・評価事業などについて話し合い、アドバイスを受けている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	在宅介護サービスや複数のグループホームの経営をしている他に、認知症家族会の窓口をつとめ行政との連絡役をするなど、行政との接点は多い。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時や電話などで必要に応じて連絡・相談しているが、月刊のホーム便りには色とりどりの行事の写真が掲載されて家族に送付している。「職員異動」や「ある日の食事メニュー」等の掲載も検討している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関口には大ぶりの意見箱が設置され、苦情申出啓発ポスターも掲示されている。地元の職員を経由したり、運営推進会議への出席等ホームに対する意見の表出機会は多く配慮されている。	○	契約書または重要事項説明書、あるいは運営規定などには、公的な組織の第三者苦情申出窓口を掲載されたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	地元出身の職員が多く、異動も少ない。1ユニットで常勤換算8.65人と余裕の人員配置であり、利用者が不穏を感じることはないように手厚く配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	知的障がい者を職員として受け入れたこともあり、職員の育成には積極的である。古希を過ぎた職員は、勤務以来、週2回の夜勤を担当しながら介護福祉士の資格を取得し、現在は、ケアマネジャーの資格取得を目指している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	開設は市内で2番目と古く、同業者との付き合いも広く長い。経営者は岐阜県グループホーム協議会東濃地区の要職もつとめ、業界全体のレベルアップに努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	居宅介護支援・通所介護・介護タクシーなど同法人経営事業の利用からの馴染みの利用者が多いことや、地元の職員も多いこともあり、利用者が慣れるのは早い。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	広い敷地には、本格的な畑があり、畑仕事や収穫を楽しみ、朝には玄関口にある地植えの花の水遣りを行っている。脳トレーニングのために、計算ドリルを熱心に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食事・入浴・音楽・外出散歩など利用者の思いを汲取る努力が行われ、利用者本意のペースになっている。	○	介護計画・記録のフェイスシートには空白の多いものがあるので、日常生活の中で感じ取られた大切な思い・意向・個人歴も含めて記入し、職員が誰でも見易いように整備されたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月開催される会議には家族や本人の意向が持ち寄られ、職員や介護支援専門員の知恵を絞った計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月開催される会議はもとより、状況の変化があればその都度介護職員や介護支援専門員によって計画が見直しされ、新たな計画が作成されている。	○	介護計画書には家族同意欄を設けて、家族が明確な意思をもって署名されるよう整備されることが望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の通院には同法人経営の介護タクシーの利用が出来る。入院中も見守りや医師との連携は絶やさず、ホームの居室はそのまま3ヶ月待ち、家族との話し合いがもたれ、時にはそのまま延長も認められている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医院の医師が月2回往診し、また、常時24時間対応している。この提携医療機関は介護老人福祉施設を運営している医療法人で、距離的にも近く、その対応も適切である。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	提携医療機関が近くにあり、重度化や終末期の医療は協力を得やすい状況である。ホームではその直前まで対応するという方針が明確に打ち立てられている。	○	重度化や終末期への対応については、経営者・管理者・職員において明確な対応方針があるため、文書化し、家族とも共有されたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	民家改造型木造平屋の建物ではあるが、仕切り壁やカーテン、ヨシズなどでその快適さとともに個々のプライバシーを守るよう工夫されている。書類の管理なども配慮されている。	○	来訪者の面会記録簿は他者も一覧できるノート方式であるが、個人情報の掲載もあるので、カード方式への変更が望まれる。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間も含め利用者本位のペースで時間が流れている。外出・散歩・入浴など本人の希望を優先する努力がされている。また、自由にベランダや庭に出て、花や樹木に触れながら外気浴を楽しむこともできる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎月1回の食べたいものアンケートを参考に、して献立を決めている。食事中はテレビの代わりに好みの音楽が流れている。下膳も利用者が行い、おやつ作りも楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	介護度5の利用者が2名入居しており、入浴リフトは職員の負担を軽くしており、よく利用されている。隔日入浴で、入浴中は会話も弾み楽しんでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人なりの作業分担や楽しみごと(畑仕事・花の水遣り・ゲーム・歌・健康体操・ぬり絵・計算ドリルなど)を気楽に行えるよう工夫と努力がされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物、散歩、畑仕事、ドライブなどの活動的なことが好きな利用者が多く、ホーム周辺にはよく出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関戸は日中鍵は使用されず、センサーチャイムもなく、天気がよければ開け放してある。居室にも鍵はない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームへ通じる道は、消防車や救急車が入れない狭い道路であるため、地域の防災訓練などには一緒に参加し、地域との協力体制も整っている。ヘルメットなどの防災用具も準備されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事メニューは利用者の希望により決められ、食事摂取量はバイタルチェック表で記録管理されている。水分確保も見守りされている。	○	バイタルチェック表には水分確保チェック欄を設け、見守りした状況の記録を残されたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木造平屋民家改造型のホームは全体的にやや狭いが、段差・トイレ・風呂などはリフトや手すりが要所要所に配慮され、安全な一般家庭の趣がある。頭脳や足腰にも適度な刺激になると思われる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者それぞれの好みで飾りつけやレイアウトが工夫されている。ホームにあるベッド・家具及び寝具などは無料で借りる事もできる。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。